

(7) 婚姻

婚姻件数は34,199組で、前年より558組減少した。

婚姻率は人口千人に対し4.8で、前年より0.1ポイント低下した。全国は前年より0.1ポイント低下し5.0であった。（表-26）

婚姻率の年次推移をみると、昭和46年の11.7をピークに低下し、昭和62年（5.7）に上昇に転じたものの、平成5年を境として、総じて低下傾向にある。（図-23）

表-26 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

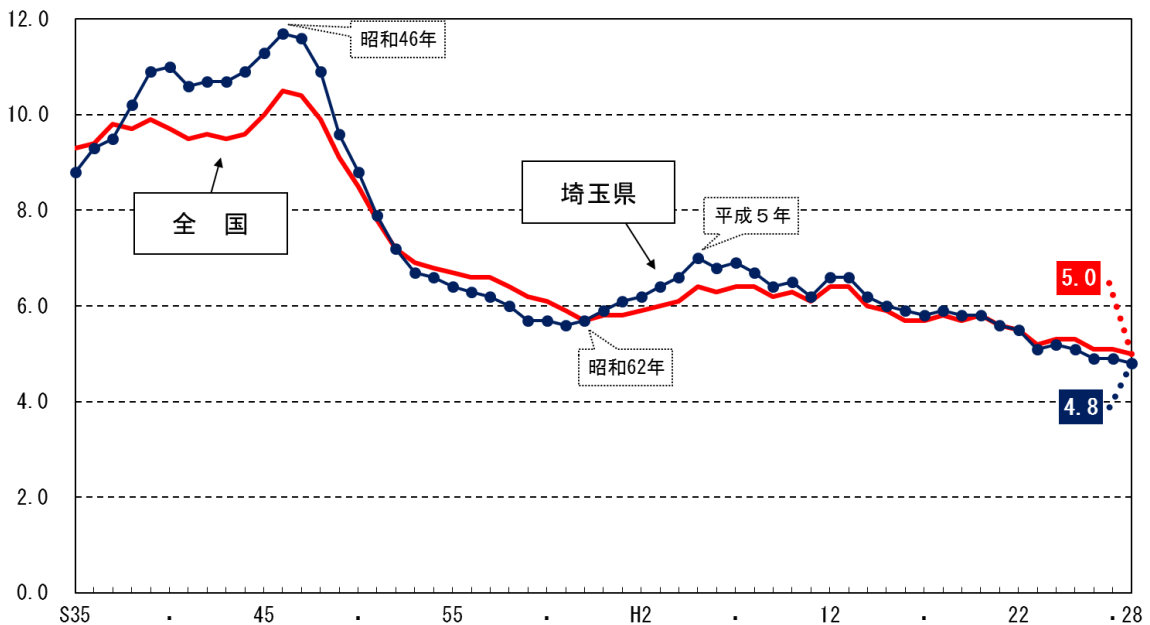
		S35	40	45	50	55	60	H2
数	埼玉県	21 485	33 131	43 517	42 340	34 708	33 446	39 234
	全国	866 115	954 852	1 029 405	941 628	744 702	735 850	722 138
率	埼玉県	8.8	11.0	11.3	8.8	6.4	5.7	6.2
	全国	9.3	9.7	10.0	8.5	6.7	6.1	5.9

		7	12	17	22	26	27	28
数	埼玉県	46 224	45 636	40 486	39 160	35 218	34 757	34 199
	全国	791 888	798 138	714 265	700 214	643 749	635 156	620 531
率	埼玉県	6.9	6.6	5.8	5.5	4.9	4.9	4.8
	全国	6.4	6.4	5.7	5.5	5.1	5.1	5.0

注：率は人口千対である。

図-23 婚姻率の年次推移（埼玉県・全国）

婚姻率（人口千対）



平均初婚年齢は、夫31.5歳、妻29.6歳で、前年と同年齢であった。全国も前年と変わらず、夫31.1歳、妻29.4歳であった。（表-27）

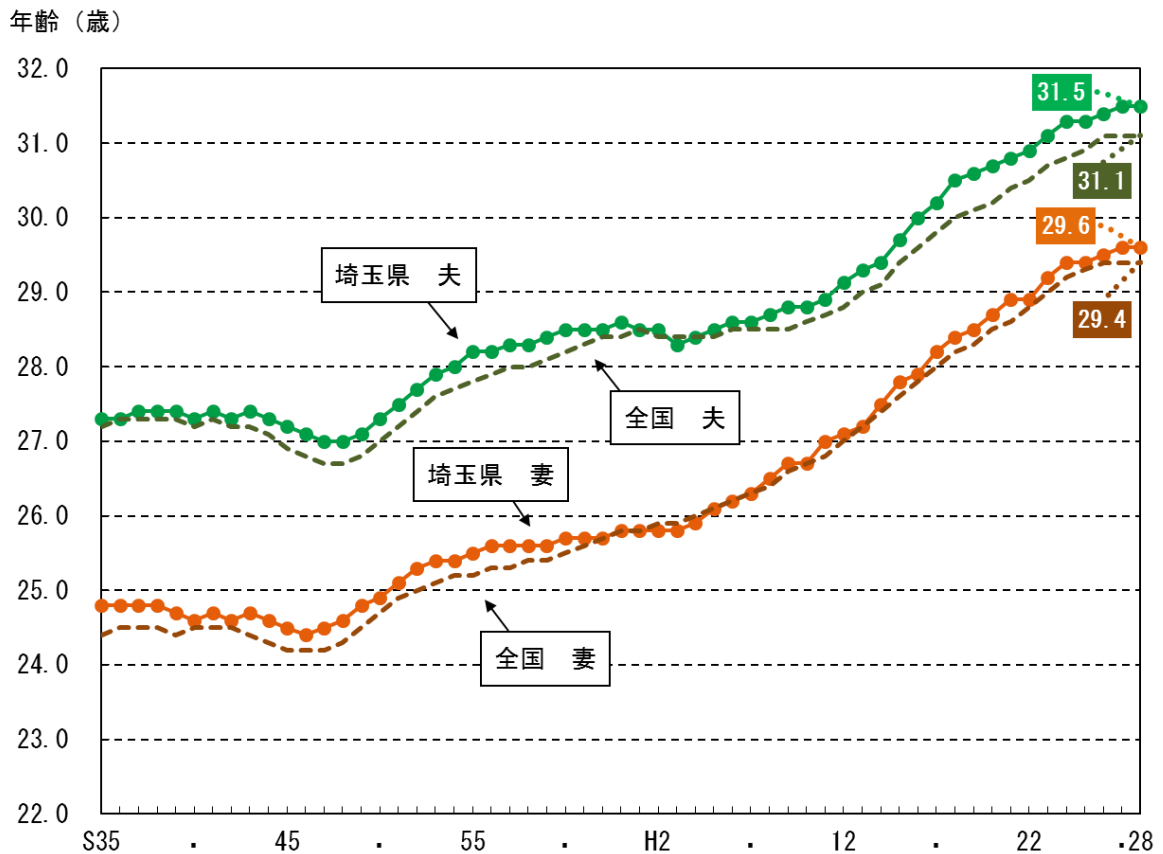
年次推移をみると、埼玉県、全国ともに上昇傾向にある。（図-24）

表-27 平均初婚年齢の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	26	27	28
夫	埼玉県	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.9	31.4	31.5	31.5
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.5	31.1	31.1	31.1
妻	埼玉県	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.9	29.5	29.6	29.6
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.8	29.4	29.4	29.4

注：各届出年に結婚生活に入ったものにより算出している。

図-24 平均初婚年齢の年次推移（埼玉県・全国）



(8) 離婚

離婚件数は12,481組で、前年より186組減少した。

離婚率は人口千人に対し1.74で、前年より0.03ポイント低下した。全国は前年より0.08ポイント低下し1.73であった。（表－28）

離婚率の年次推移をみると、昭和58年以降低下傾向にあったが、平成元年以降上昇に転じた。その後は平成13年をピークに低下傾向にある。平成27年に6年ぶりに上昇したものの、平成28年は再び低下した。（図－25）

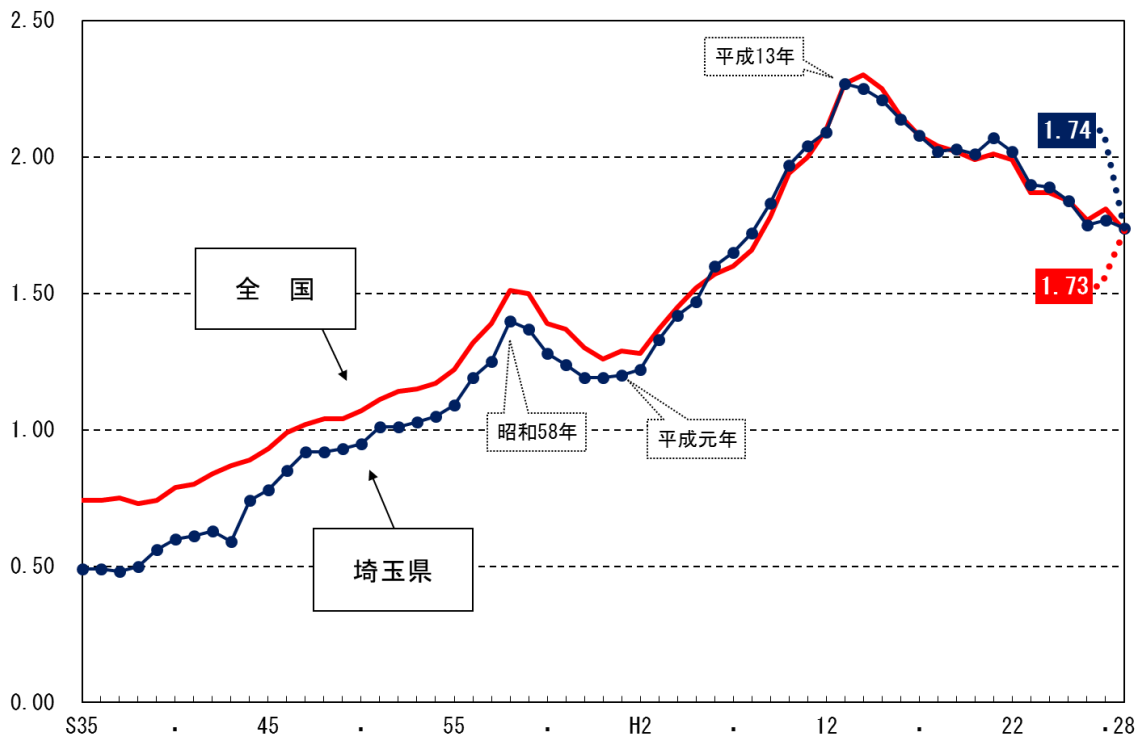
表－28 離婚件数及び離婚率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2
数	埼玉県	1 182	1 797	2 990	4 584	5 901	7 494	7 775
	全国	69 410	77 195	95 937	119 135	141 689	166 640	157 608
率	埼玉県	0.49	0.60	0.77	0.95	1.09	1.28	1.22
	全国	0.74	0.79	0.93	1.07	1.22	1.39	1.28
		7	12	17	22	26	27	28
数	埼玉県	11 062	14 368	14 521	14 325	12 484	12 667	12 481
	全国	199 016	264 246	261 917	251 378	222 107	226 215	216 798
率	埼玉県	1.65	2.09	2.08	2.02	1.75	1.77	1.74
	全国	1.60	2.10	2.08	1.99	1.77	1.81	1.73

注：率は人口千対である。

図－25 離婚率の年次推移（埼玉県・全国）

離婚率（人口千対）



(9) 合計特殊出生率

合計特殊出生率は1.37で、前年の1.39より0.02ポイント低下した。全国は前年より0.01ポイント低下し1.44であった。

母の年齢階級別に前年と比較すると、45～49歳を除いた全ての階級で低下した。出生率は30～34歳が最も高く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。(表-29、図-26)

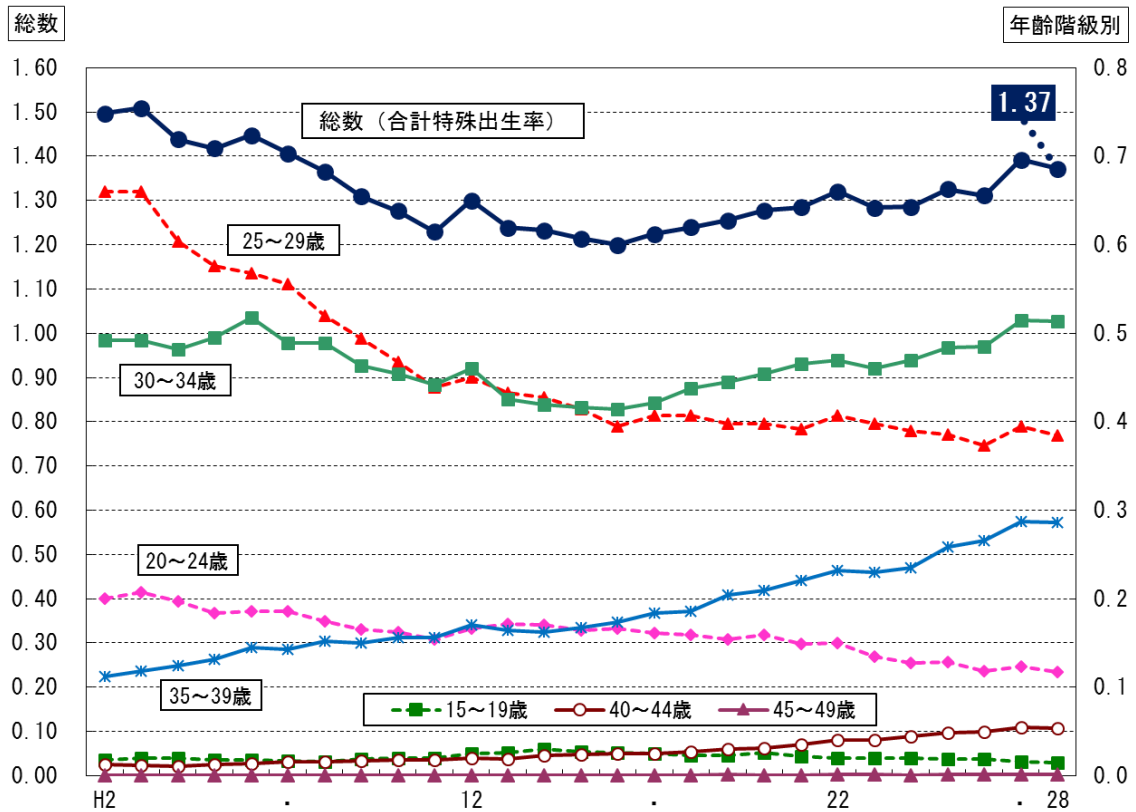
表-29 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

		H2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28
埼玉県	総数 (合計特殊出生率)	1.50	1.41	1.30	1.22	1.32	1.28	1.29	1.33	1.31	1.39	1.37
	15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.0255	0.0200	0.0198	0.0196	0.0184	0.0190	0.0158	0.0150
	20～24歳	0.20	0.19	0.17	0.1617	0.1504	0.1344	0.1273	0.1287	0.1186	0.1234	0.1173
	25～29歳	0.66	0.56	0.45	0.4071	0.4075	0.3981	0.3893	0.3851	0.3729	0.3945	0.3843
	30～34歳	0.49	0.49	0.46	0.4216	0.4693	0.4600	0.4693	0.4842	0.4848	0.5147	0.5140
	35～39歳	0.11	0.14	0.17	0.1835	0.2322	0.2298	0.2350	0.2587	0.2659	0.2871	0.2861
	40～44歳	0.01	0.02	0.02	0.0246	0.0404	0.0401	0.0440	0.0487	0.0491	0.0547	0.0536
	45～49歳	0.00	0.00	0.00	0.0007	0.0010	0.0010	0.0007	0.0011	0.0013	0.0014	0.0014
全国	総数 (合計特殊出生率)	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44

注1：数値は、5歳階級別の出生率を合計したものである。ただし、埼玉県の平成27年分と全国の数値は、各歳の年齢別出生率を合計したものである。

注2：算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

図-26 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）（埼玉県）



市町村別にみると、高率順では、滑川町（1.70）、横瀬町（1.64）、戸田市（1.48）の順である。

また、低率順では、鳩山町（0.73）、川島町（0.75）、小鹿野町（0.79）の順である。（表－30、図－27）

表－30 市町村別にみた合計特殊出生率（高率順）

埼玉県

順位	市町村	合計特殊出生率	順位	市町村	合計特殊出生率	順位	市町村	合計特殊出生率
1	滑川町	1.70	22	東松山市	1.29	43	羽生市	1.15
2	横瀬町	1.64	23	伊奈町	1.29	44	加須市	1.13
3	戸田市	1.48	24	熊谷市	1.28	45	鴻巣市	1.11
4	朝霞市	1.47	25	嵐山町	1.28	46	久喜市	1.11
5	志木市	1.44	26	宮代町	1.26	47	上里町	1.11
6	白岡市	1.39	27	坂戸市	1.25	48	北本市	1.10
7	三郷市	1.39	28	上尾市	1.25	49	飯能市	1.09
8	越谷市	1.38	29	川口市	1.25	50	蕨市	1.08
9	吉川市	1.38	30	皆野町	1.24	51	日高市	1.08
10	和光市	1.37	31	本庄市	1.23	52	長瀬町	1.07
11	神川町	1.36	32	草加市	1.23	53	行田市	1.06
12	ふじみ野市	1.35	33	所沢市	1.23	54	ときがわ町	1.01
13	松伏町	1.34	34	鶴ヶ島市	1.22	55	越生町	0.97
14	新座市	1.34	35	蓮田市	1.21	56	幸手市	0.97
15	秩父市	1.34	36	狭山市	1.21	57	小川町	0.95
16	さいたま市	1.33	37	桶川市	1.20	58	東秩父村	0.90
17	富士見市	1.33	38	入間市	1.19	59	毛呂山町	0.87
18	八潮市	1.33	39	美里町	1.19	60	吉見町	0.87
19	深谷市	1.32	40	杉戸町	1.17	61	小鹿野町	0.79
20	川越市	1.31	41	春日部市	1.17	62	川島町	0.75
21	寄居町	1.29	42	三芳町	1.15	63	鳩山町	0.73

注：順位の算出には、小数点第3位以下を考慮している。

図一27 合計特殊出生率一市町村別状況一

